

蔵王みはらしの丘 はらっぱ館

施設概要

事業主体：山形県

施設名称：蔵王みはらしの丘 はらっぱ館

所在地：山形市大字松原 1680

用途：管理事務所



《外観写真》周囲の山並みと呼应する緩やかな曲線屋根

●施設の特徴、内容

はらっぱ館は蔵王みはらしの丘ニュータウンのコミュニティの拠点であり、開かれた地域のシンボルとして計画した。

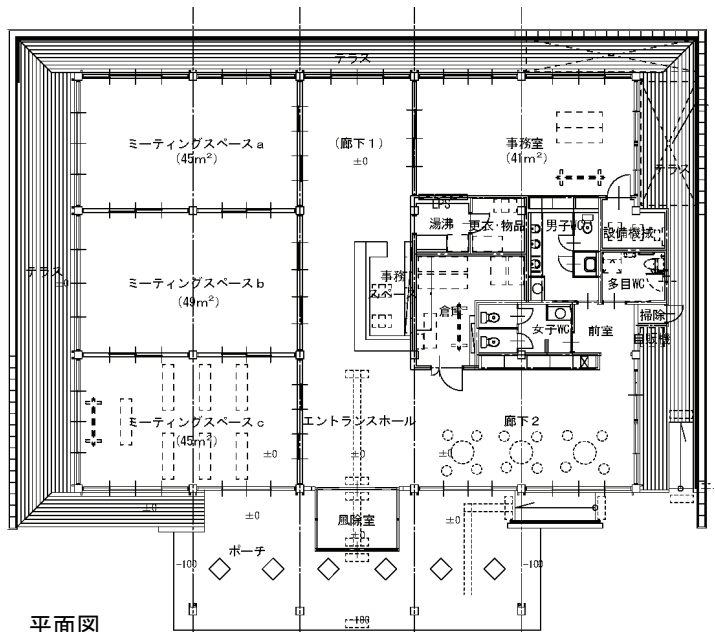
施設の周りの景観を損なうことのない外観とするため、屋根の形状は周囲の丘陵地に呼应するような緩やかな曲線屋根としている。

●建物平面

ミーティングスペースやエントランスホールなどは壁で区切らず引き戸を用いることで、内部空間の大きさや形を使用者に合わせてフレキシブルに対応できるものとした。

建物外周には大きな開口を設け自然換気を促すとともに、周囲の景観を享受できる開放的で居心地の良い内部空間とした。

玄関部には大きなポーチを、外周にはテラスを設置し、内外部の連続性を高め、一体的な利用を可能としている。



平面図

■建物情報

階数：地上1階

構造：木造

小屋組方式：集成材接合金物工法

敷地面積：14,432 m²

延床面積：383 m²

最高軒高：4.75m (梁天端)

最高高さ：5.5m

耐火・準耐火：その他の建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根)：長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 mm縦ハゼ式

(外壁)：リブ状金属系サイディング t15 mm

杉板 t12 mmピグメントステイン塗り

内部仕上

(床)：t12 mm木製フローリング張り

(壁)：ビニルクロス張り

(天井)：せっこうボード EP 塗り



《エントランスホール》事務スペースを望む



《ミーティングスペース》木製建具を採用

《使用木材》



杉	11.0 m ² 、	ベイマツ	12.2 m ²
集成材	60.4 m ² 、	その他	16.1 m ²
計	99.7 m ²		

●配置計画について

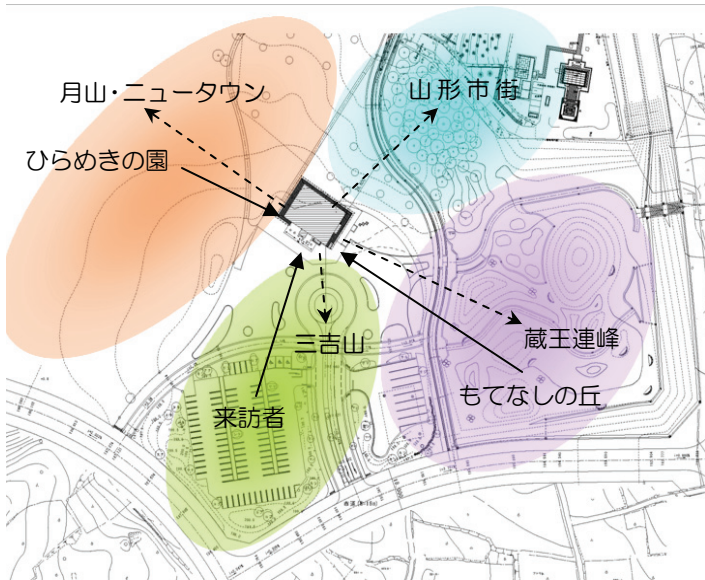
小高い丘陵地にあるはらっ館は施設のどの方向からも違った眺望が得られる。倉庫やトイレ、設備機械室などの管理諸室（コア）を集約し、建物4周ともに掃出し窓などの開口部とすることで360度の視領域を確保した。

建物が、ひらめきの園をはじめとする周囲の景観に対する「視点場」として機能するような配置とした。

●維持管理について

整形でシンプルな長方形の平面形状とし、庇を設けることで冬季における日照の有効利用と夏季の熱負荷の低減に配慮した。開口部には複層ガラスやLow-Eガラスなどを採用し、節電・節水型の器具を採用するなど、省エネへの配慮も行った。

維持管理上のポイントとなる雪の処理については、載雪型（無落雪）の建物とすることで建物周りの排雪を最小限に抑え、建物外周部のテラスにより外壁面が直接雪に接することを防ぎ、外壁の経年劣化を抑えた。



《エントランス》



《ミーティングスペース》



《ミーティングスペース》

■事業概要

設計者：株式会社 鈴木建築設計事務所
 施工者：(建築) 榮大建設 株式会社
 (電気) 光電設 株式会社
 (機械) 有限会社 熊澤工業
 工期：平成20年7月～平成21年3月

設計費： 5,880 千円
 建設費：(建築) 97,878 千円
 (電気) 7,465 千円
 (機械) 8,063 千円
 (合計) 113,406 千円
 1 m²あたりの建設費： 296 千円